

第4回 コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会 議事録

1. 日時：令和元年6月25日（火）14:00～17:00
2. 場所：徳島大学理工学部理工学科社会基盤デザインコース 建設棟3階303室（15:40～508室）
3. 出席者：橋本，塚越，吉田，横手，森澤，渡部，新居，牛尾，石井，原田，堀井，岸本，中川，氏家，金滝，荻田，田中，栗栖 オブザーバー：古田，新田（敬称略，順不同）以上 20名
4. 配布資料
  - 4-0：第4回委員会議事次第
  - 4-1：第3回コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会議事録（案）
  - 4-2：2018年度コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会報告書案（橋本委員長）
  - 4-3：銅スラグを用いたコンクリートを施工する上でのガイドライン（中川委員）
  - 4-4：スラグ細骨材を用いたコンクリートを施工する上でのポイント（中川委員）
  - 4-5：CUS や FA の使用による物質移動抵抗性の変化が内部の鉄筋腐食速度に及ぼす影響（塚越幹事長）
  - 4-6：非鉄スラグ細骨材を使用したコンクリートの摩耗試験結果報告（橋本委員長）
  - 4-7：コンクリートに対する銅スラグ細骨材とフライアッシュの混合使用効果（堀井委員）
  - 4-8：JCI 研究委員会報告書 執筆要領書（橋本委員長）

5. 議事

- 1) 配布資料の確認および委員長挨拶  
橋本委員長より，残り2回の委員会を通して，報告書の作成およびガイドラインの作成と，次年度行う報告会に向けて引き続きご協力頂きたい旨の挨拶があった。
- 2) 新委員自己紹介  
第4回委員会より新たにオブザーバーとして出席された，新田氏より簡単な自己紹介があった。
- 3) 第3回委員会議事録（案）の確認  
塚越幹事長より，資料4-1の第3回委員会議事録（案）が通読された後，承認された。
- 4) 報告書案について  
橋本委員長より，資料4-2を用いて，本委員会報告書の序と委員構成，目次案について説明があった。
- 5) 四国地区における CUS を用いたコンクリートを施工する上でのガイドライン  
中川委員より，資料4-3と4-4を用いて，四国地区における CUS を用いたコンクリートを施工する上でのガイドラインについて説明があり議論がなされた。
- 6) 大学・高専で CUS を用いた研究に関する中間報告
  - 6-1) 地下水の影響を受ける CUS を用いたコンクリート中の鉄筋腐食についての検討  
塚越幹事長より，資料4-5を用いて，地下水の影響を受ける CUS コンクリート中の鉄筋腐食について説明があった。
  - 6-2) CUS の舗装用コンクリートへの適用性に関する検討  
橋本委員長より，資料4-6を用いて，CUS や，フェロニッケルスラグ，電気炉酸化スラグを用いたコンクリートの耐摩耗性試験結果について説明があった。
  - 6-3) コンクリートに対する CUS と FA の混合使用効果  
堀井委員より，資料4-7を用いて，コンクリートの細骨材に CUS 2.5 を使用した際の基本物性と，混合砂の実積率について説明があった。
  - 6-4) CUS を使用したコンクリートの打ち込み高さとの鉄筋腐食の関係  
氏家委員より，材料分離の影響を考慮したコンクリートの打ち込み高さ毎の鉄筋腐食性状について行った研究結果について説明があった。